

2021年3月31日

DX 技術の実証開始について

日比谷総合設備株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:黒田長裕【=くろだ・ながひろ】)は、建物の使用者に向けた新たな価値の実現のため、昨年よりセンサー類の選定・試験・設置をおこない、今年1月よりDXを活用した技術の実証を開始しました。

主な実証内容は、“①ビーコンによる執務者の位置情報を用いた密集検知、②多機能センサーによる室内環境評価、③センサーによる会議室内の人数把握、④ゲート連携したサーモカメラによる発熱・マスク非装着検知”の4点で、スマートオフィスの実現を目指しています。

本実証では、執務者の位置情報やセンサーから在室人数、混雑状況を可視化したヒートマップのほか、環境情報(温湿度、CO2濃度、照度等)を見える化し、業務効率化の促進及び室内環境の最適化に取り組むとともに、取得したデータをもとに空調・照明等の制御につなげる予定です。また、位置情報については新型コロナウイルス感染症対策として、密集検知や接触履歴の追跡に活用します。

当社は、昨年7月に「DXビジネス推進室」を設置し、DX推進によるお客様への高付加価値実現のため、先日発表した施工現場でのバイタルセンサー活用による「施工現場管理 DX」や、今回の「スマートオフィス・ソリューション」を目指した案件提案など、社内外で活用する様々なDX推進の取り組みに注力してまいります。

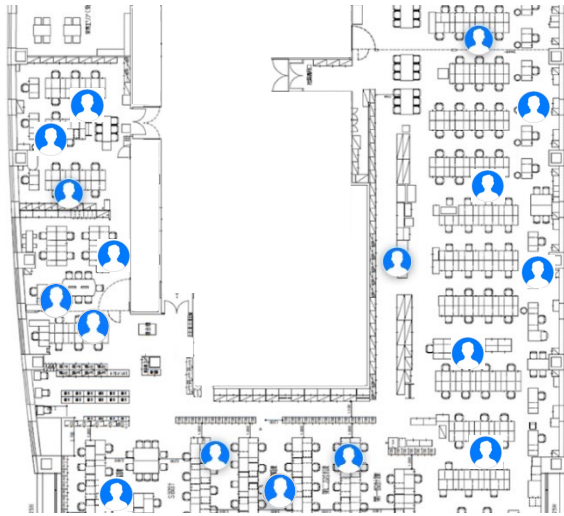


図 ビーコンによる執務者在室位置把握



図 執務室環境計測状況